

関西農業食料工学会会報投稿規程

平成 16 年 7 月 16 日改正
平成 25 年 9 月 1 日改正
令和 2 年 1 月 1 日改正

1. 本会報には、原則として関西農業食料工学会例会で発表した研究の論文、および編集委員会が依頼・編集した情報記事を掲載する。
2. 投稿原稿の様式について、投稿者が守るべきものは別途細則に定める。
3. 投稿者は投稿原稿のコピーを保存しておくこと。
4. 秋期例会発表の原稿は例会後 1 ヶ月以内に事務局宛に送付し、春期例会発表の原稿は例会当日提出すること。また情報記事に関しては編集委員会に送付するものとする。
5. この規程の改正は幹事会にて行なう。

関西農業食料工学会会報投稿細則

平成 16 年 7 月 16 日制定
平成 23 年 12 月 15 日改正
平成 24 年 8 月 11 日改正
平成 25 年 9 月 1 日改正
平成 26 年 3 月 4 日改正
平成 28 年 3 月 2 日改正
令和 2 年 1 月 1 日改正

1. 原稿はワードプロセッサで作成したものとし、その体裁は次の通りとする。

(1) 用紙・印字領域

A4 版縦置き白紙に印字する。印字領域は縦 250 mm, 横 170 mm とする（この印字領域を得るためには、上下余白をそれぞれ 24 mm, 左右余白をそれぞれ 20 mm 程度とる。ただし印字領域の設定は余白で設定せず、あくまで印字領域そのものが縦 250 mm, 横 170 mm となるように調整する）。

(2) 表題等

1 枚目には最上行に題名を用紙の中央に印字し、副題は次の行の中央に罫線で挟んで印字する。改行後、日本語で著者名、次行に勤務先を右寄りに印字する。著者名の右肩と勤務先の左に数字を付し、著者名と勤務先を対応させる。1 行あけて日本語にならって英語で題名、副題を印字する。改行後、英語で著者名、次行に勤務先を右寄りに印字し、日本語にならって数字を付して著者名と勤務先を対応させる。

さらに 1 行あけて左端に Keywords: と印字し、続いてキーワード（英語）をコンマ区切りで並べる。

(3) 段組・字数

本文はキーワードより 1 行あけて 2 段組とし、中央に 7 mm 前後の空白を設ける。秋期例会発表分および情報記事は片段 24 字×50 行程度となるように文字間隔と行間隔を設定し、春期例会発表分はシングルスペースにて文字間隔は標準の設定とする。

(4) 文字の大きさ

秋期例会発表分および情報記事は題名と副題の文字の大きさを 12 ポイント、それ以外の文字を 10 ポイントとし、春期例会発表分はそれぞれ 11 ポイントおよび 9 ポイントとする。

字体は次のとおりとする。なお、地域性の高い情報記事に関しては、英語併記および英語の表現は著者の判断によるものとする。

題名，副題： 日本語はゴシック体，英語は Times またはそれらに準ずる字体
著者名，勤務先：日本語は明朝体，英語は Times またはそれらに準ずる字体
Keywords： Times またはそれに準ずる字体
本文： 明朝体またはそれに準ずる字体
見出し： ゴシック体またはそれに準ずる字体
図題，表題： Times またはそれに準ずる字体
参考文献： 日本語は明朝体，英語は Times またはそれらに準ずる字体

(5) 報文の長さ

1 報文の長さ（原稿枚数）は図表を含めて

秋期例会発表分	2 枚
春期例会発表分	1 枚
情報記事	編集委員会の依頼した枚数

とする。

(6) 図表について

図表は英語で記述することとし，文中の適当なところに入れる。図題及びその説明は図の下に，表題は表の上に中揃えで，いずれも英語で印字する（たとえば，Fig.1 Table 1）。図表及びその中の文字はあまり小さくせず，凡例には色を用いないこと。

(7) 見出しおよび番号

章，節，小節などの番号の付け方および位置は原則として大きな見出しから順に次のようにする。

I	II	III	…	(中揃え)
1.	2.	3.	…	(左寄せ)
(1)	(2)	(3)	…	(左寄せ)
a	b	c	…	(左寄せ)
(a)	(b)	(c)	…	(左寄せ)
(i)	(ii)	(iii)	…	(左寄せ)

(8) 単位について

SI 単位を主体とし，必要なものには従来単位を併記する。

(9) 参考文献について

参考文献は片括弧番号 1)，2) のような通し番号を付け，見出し「参考文献」のもとに本文末尾にまとめる。

引用は本文中の引用個所の右肩に上付き片括弧番号を記す。

参考文献の書式は以下のとおりとする。

雑誌の場合 著者名（複数著者はコンマにて区切る）： 標題，雑誌名，巻号，ページ，
発行年（西暦）

単行本の場合 著者名（複数著者はコンマにて区切る）： 書名と版数，発行所，引用ページ，発行年（西暦）

2. 原稿は原則としてモノクロレーザプリンタの出力およびワードプロセッサの文書ファイルを提出することとする。

3. この細則の改正は幹事会にて行なう。